※令和4年度以降入学生用

学校番号	1003

令和　5　年度　　食物文化　　科

教科	専門・家庭	科目	生活産業基礎	単位数	2　単位	年次	1　年次
使用教科書	自作プリント						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

進路選択を自分のものとして積極的に考えるようにしましょう。
商品開発を通して、人との協力の大切さを認識するとともに、仕事の大変さや楽しみを感じましょう。

2　学習の到達目標

(1)生活産業に関連する職業について体系的・系統的に理解する。
(2)生活産業に関連する職業への関心を高めさせる。
(3)適切な進路選択と専門性の向上を自ら学ぶ姿勢を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・生活産業と卒業後の進路のかかわりについて理解し、高校卒業後の進路までの具体的なプランを計画できている。 ・生活産業の種類や特徴を理解し、関連する職業に関わる知識を身に付けている。	・実習等を通して、生活産業の意義や役割について思考を深めている。 ・生活と産業のかかわりを理解し、生活産業のあり方を的確に判断できる力を身に付けている。	・生活と産業とのかかわりや生活産業に関心があり、積極的に授業や実習に取り組んでいく姿勢がみられる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和4年度以降入学生用

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知 (a)	思 (b)	主 (c)
1	進路選択	・ライフプラン ・講演会「進学について」 ・講演会「(分野別)進学説明会」 ・職業人講話(調理師・管理栄養士・栄養教諭)	a:希望する職業に関する情報を収集し、その職業と社会との関りについて理解している。 b:自分の進路について真剣に考えようとしている。 c:進路選択を自分のものとして積極的に考えている。	提出物	提出物	授業への取り組み
	職業理解	・講演会「プレゼンテーション」 ・商品開発	a:テーマに関する知識を収集し、それらを活用することができている。 b:自らの考えを商品の形で表現することができている。 c:話し合いに積極的に参加し、よりよい新商品を考えようとしている。	提出物	提出物	授業への取り組み
2	職業理解	・商品開発	a:テーマに関する知識を収集し、それらを活用することができている。 b:自らの考えを商品の形で表現することができている。 c:話し合いに積極的に参加し、よりよい新商品を考えようとしている。	提出物	提出物	授業への取り組み
	進路選択	・大学訪問 ・講演会「大学進学」	a:希望する職業に関する情報を収集し、その職業と社会との関りについて理解している。 b:自分の進路について真剣に考えようとしている。 c:進路選択を自分のものとして積極的に考えている。	提出物	提出物	授業への取り組み
3	進路選択	・職業人インタビュー	a:希望する職業に関する情報を収集し、その職業と社会との関りについて理解している。 b:自分の進路について真剣に考えようとしている。 c:進路選択を自分のものとして積極的に考えている。	提出物	提出物	授業への取り組み

※　表中の観点について　　a:知識・技術　　b:思考・判断・表現　　c:主体的に学習に取り組む態度